

<特集補遺「受動表現」>

トルコ語の受動表現 Passive Expression in Turkish

奥 真裕
Masahiro Oku

東京外国語大学大学院総合国際学研究所
Doctoral Course, Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集補遺「受動表現」(『語学研究所論集』第14号, 2009, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は10個のアンケート項目に対するトルコ語データを与えることである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on 'Passive Expression' (*Journal of the Institute of Language Research* 14, 2009, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Turkish data for the question of 10 phrases.

キーワード: 受動, トルコ語

Keywords: passive, Turkish

1. はじめに

トルコ語は主にトルコ共和国で話されている言語であり、イスタンブール方言を基礎とした共通語をもつ。チュルク諸語の南西語群(オグズ語群とも呼ばれる)に分類され、アゼルバイジャン語やトルクメン語と近い関係にあるとされる。言語類型論的にはいわゆるアルタイ型であり、SOVの語順をとる言語である。本稿における表記は正書法を採用している。

本稿の作成にあたり、Ayşe Büşra Kayaさん(アンカラ県出身, 22歳, 女性)のご協力を得た。また、指導教員である菅原睦先生からは多くのご指摘をいただいた。この場を借りて感謝を述べたい。なお、誤りはすべて執筆者の責任である。調査にあたっては、筆者の作例を修正してもらう形で行った。

2. データ

(1) ムラットはムスタファに叩かれた。(直接受身)

Murat	Mustafa	tarafından	döv-ül-dü.
ムラット	ムスタファ	によって	叩く -PASS-PAST

Tarafındanは受動文の動作主を示すマーカーである。taraf-ı-ndan(方向-POSS.3SG-ABL)と分析可能だが、動作主が1人称, 2人称の場合 taraf-ım-dan(方向-POSS.1SG-ABL), taraf-ımız-dan(方向-POSS.1PL-ABL)等のように所有人称接尾辞が対応する形になる。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

(2) ムスタファはムラットに足を踏まれた。(持ち主の受身, 体の部分)

a. Mustafa tarafından Murat'ın ayağ-ı-na bas-ıl-dı.
ムスタファ によって ムラット-GEN 足-POSS.3SG-DAT 踏む-PASS-PAST
「ムスタファによってムラットの足が踏まれた。」

b. Mustafa tarafından Murat'ın bacağ-ı tekmele-n-di.
ムスタファ によって ムラット-GEN 足-POSS.3SG 蹴る-PASS-PAST
「ムスタファによってムラットの足が蹴られた。」

与えられた例文の動詞「踏む」(bas-)は与格を取るため, (2b)として「蹴る」(tekmele-)の例を挙げる。トルコ語の受動文では, トルコ語では, 直接の動作対象が体の部分か持ち物であるかにかかわらず「持ち主の受身」の構文は成立せず, (2b)のように「AのBは」と表現される。(3)に関しても同様である。

(3) ムラットはムスタファに財布を盗まれた¹。(持ち主の受身, 持ち物)

Murat'ın cüzdan-ı Mustafa tarafından çal-ın-dı.
ムラット-GEN 財布-POSS.3SG ムスタファ によって 盗む-PASS-PAST

(4) 昨日の夜, 私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。(自動詞からの間接受身)

Dün gece bebeğ-im ağla-dı. O yüz-den hiç
昨日 夜 赤ん坊-POSS.1SG 泣く-PAST その 理由-ABL ちっとも
uyu-ya-ma-dı-m.
寝る-PSB-NEG-PAST-1SG

「昨日の夜, 私の赤ん坊が泣いた。それでちっとも眠れなかった。」

トルコ語では受動文にすることはできず, (4)のように「赤ん坊が泣いた」となる。

(5) 新しいビルが(会社によって)建てられた。(モノ主語受身, 一回的)

Yeni bina (firma tarafından) inşa ed-il-di.
新しい ビル 会社 によって 建設 する-PASS-PAST
「新しいビルが(会社によって)建てられた。」

(6) カナダではフランス語が話されている。(モノ主語受身, 恒常的. 動作主が問題にならない場合)

Kanada'-da Fransızca konuş-ul-uyor.
カナダ-LOC フランス語 話す-PASS-PRES
「カナダでフランス語が話されている。」

¹ 受動ではないが, 使役形を用いて以下の様に表現することが出来る。

Ben cüzdan-ım-ı çal-dır-dı-m.
私は 財布-POSS.1SG.ACC 盗む-CAU-PAST.1SG
「私は財布を盗ませた。」(「財布を盗まれた。」の意)

(7) 財布が(泥棒に)盗まれた。(モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される)

Cüzdan-ım (hırsız tarafından) çal-ın-dı.
財布-POSS.1SG 泥棒 によって 盗む-PASS-PAST
「私の財布が(泥棒によって)盗まれた。」

(8) 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身, 結果状態の叙述)

a. Duvar-da resim asılı.
壁-LOC 絵 かかっている
「壁に絵がかかっている。」

b. Duvar-da resim as-ıl-dı.
壁-LOC 絵 かける-PASS-PAST
「壁に絵がかけられた。」

「掛けられている」のように状態を表す場合, 受動ではなく(8a)のように形容詞を使った表現になる².

(9) アイシェはムラットに愛されている。(感情述語の受身)

Ayşe Murat tarafından sev-il-iyor.
アイシェ ムラット によって 愛する-PASS-PRES
「アイシェはムラットによって愛されている。」

(10) アイシェはムラットに「君を愛している。」と言われた。(伝達動詞の受身)

Ayşe'-ye Murat tarafından "Seni sev-iyor-um"
アイシェ-DAT ムラット によって あなたを 愛する-PRES-1SG
de³-n-il-di.
言う-PASS-PASS-PAST

動作主は *tarafından* を用いて表され, 与格や奪格を用いることはできない。

*de-n-il-*において受動接辞が2度用いられているが, そのことにより項への影響はない。
Göksel-Kerslake(2005: 151-152)は受動接辞が1度使われた形(*de-n-*)と同義であるとしている。

(10a) アイシェは先生に呼ばれて, 今先生の部屋に行っています。

Ayşe öğretmen tarafından çağır-ıl-dı ve şu an
アイシェ 先生 によって 呼ぶ-PASS-PAST そして その 時
onun oda-sı-na gid-iyor.
彼(彼女)の 部屋-POSS.3SG-DAT 行く-PRES
「アイシェは先生に呼ばれて, 今先生の部屋に行っています。」

² トルコ語に近い関係にあるチュルク諸語のトルクメン語では結果状態を受け身で表すことができる。

Duvar-da surat as-yl-an.
壁-LOC 絵 かける-PASS-PART.PAST
「壁に絵がかけられている。」

³ *de-*「言う」は対格目的語を取らない。トルコ語では自動詞から作られる受身文には主語が現れない。

(10b)先生がアイシエを呼んで、アイシエは今先生の部屋に行っています。

Öğretmen	Ayşe'-yi	çağır-dı	ve	şu	an	Ayşe
先生	アイシエ-ACC	呼ぶ-PAST	そして	その	時	アイシエ
onun	oda-sı-na	gid-iyor.				
彼(彼女)の	部屋-POSS.3SG-DAT	行く-PRES				

「先生がアイシエを呼んで、アイシエは今先生の部屋に行っています。」

調査協力者によると、(10a)及び(10b)共に可能であるが、(10b)が自然な表現であるという。

略号一覧

ABL	奪格	ACC	対格	CAU	使役
DAT	与格	GEN	属格	LOC	位格
NEG	否定	PART	形動詞	PASS	受身
PAST	過去	PL	複数	POSS	所有接尾辞
PRS	現在	POT	可能	SG	単数
1	1人称	3	3人称		

参考文献

Göksel, Aslı and Kerslake, Celia. 2005. *Turkish. A Comprehensive Grammar*, London, pp.151-152.

執筆者連絡先 : okuma.sahil.o@gmail.com

原稿受理 : 2019年12月9日